

# FPの家 全国一斉

# なんでも相談会

慣れない家づくりで悩みごとはありませんか？

「家づくり…いったい何から手をつけたいのかわからない」という方、  
「FPの家」のことをもっと知りたいという方、是非ご参加ください！  
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

一年中快適な家って  
本当に出来るのかな…

ストレスのない  
二世帯住宅がいいわ…

省エネで家計に  
ゆとりが欲しいわ…

地震に耐えて  
家族を守る  
家が良いよな…

とにかく  
暖かい家よね…

住宅ローンとか  
相談に乗って  
くれるかな…

実際に見て、触れて、聴いて、その確かさをご理解・ご体感ください!! この「のぼり」が目印!

3/4 土 ~ 3/5 日

開催時間：AM10:00～PM5:00

会場：イトー住建 事務所



家づくりのこと、なんでもご相談ください。



資金計画

土地探し

リフォーム

この他にもたくさんの相談会をご用意！ご参加お待ちしております。



# 「FPの家 全国一斉なんでも相談会」で 家づくりのこと、なんでも聞いてみよう。

相談会内容の一例

## 住まいの構造相談

「地震や水害に耐えられる家づくりがしたい」というご相談が増えていきます。地震や水害など自然災害に耐えた「FPの家」のケースをもとに、皆様の構造に対する疑問質問にお答します。

## 住みごち相談

「家じゅう丸ごと暖かく過ごしたい」「夏の暑さから解放されたい」など、住みごちは重要な問題ですよね。現在お困りなことや、より快適な住みごちに必要なことなど、ぜひご相談ください！

## 省エネ相談

省エネに暮らすために「服を1枚多く着る」「暖房温度を低く設定する」など様々な工夫をされている方も多いと思いますが、ガマンしない省エネ生活を可能にできる家づくりをご紹介します。

## 大家族相談

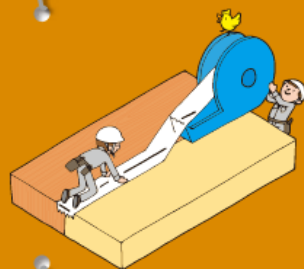
二世帯、三世帯住宅など世代を超えたご家族でのお住まいを検討されている場合は、ご家族皆様が快適に過ごせることは重要です。家族みんなにちょうどいい快適な家づくりのご相談、おまかせください！

今年こそマイホーム!! 「FPの家」はいつでも、どこでも快適な高性能住宅です。

## 断熱・気密

ここまで徹底、断熱と気密。  
暖かさ、涼しさの質が違う。

夏、外の熱気を寄せつけません。冬、室内の暖気を外に逃しません。床・壁・屋根を形成する柱のすべてに高性能パネルを組み込み、住む人を心地よく包むのが「FPの家」です。一般的に使われているグラスウールにくらべて、約2倍の断熱性能を持つウレタン断熱材＝FPパネルが心地よさの理由です。しかも、パネルと柱・梁との隙間、パネル同士の隙間、さらにパネルと窓との隙間を専用テープ等でしっかりとふさぎ、気密性を徹底して高めています。快適温度を保つ——住まいの基本性能にすぐれているのが「FPの家」です。



## 耐震性

地震国の住まいにふさわしく。  
探究を重ねた安心の工法。

「FPの家」は、ウレタン断熱パネルで囲まれた住まいです。「ウレタン」と聞くと、枕やクッションを連想するかもしれませんが、FPパネルはそんなイメージとは正反対。工場で一貫生産される、密度の高いオリジナルの硬質ウレタンですから、たいへん頑丈です。しかも性能が長持ちします。この高性能パネルを柱の間に組み込むFP工法は、垂直と水平、両方向にかかる揺れの力によく耐えます。耐震実験では、阪神淡路大震災が、それ以上の揺れでも、FPパネルを用いた建物にはほとんど影響がない、という結果が出ています。



## 耐水性 耐火性

毎日の快適と非常時の安心。  
水にも火にも強い断熱パネル。

実際に確かめられたことがあります。それはFPパネルの耐水性。過去のいくつかの地区で発生した集中豪雨により「FPの家」も床下浸水の被害に遭ってききました。泥水に浸かったFPパネルですが、形状・性能ともに変化がなく、家屋改修の際も取り替えずにそのまま使えた、という感謝の声が届けられています。水を吸いにくい、つまり結露で劣化しにくいことを証明する一例といえます。また火にも強いのがFPパネル。発火温度は木材とほぼ同じ400℃前後で、火がつきにくく、燃え広がりにくい素材です。耐水性と耐火性、2つの高性能で安全と安心を守ります。



## 省エネ

心地よく暮らしながら、  
冷暖房費を抑えるために。

節約や省エネは大切ですが、バランスを欠いては問題です。健やかで心地よい生活を犠牲にしては意味がありません。我慢を重ねるようなら長続きもしません。では、どうするか？ 住まいの基本性能を高める、という方法があります。暖かさや涼しさを保ちやすい住宅なら、ストーブやヒーター、クーラーや扇風機をそう頻繁に使わずに済み、冷暖房費を抑えられます。建築費が少し高くなるとしても、ずっと住み続けるのですから、損得は長い目で見て判断すべき。「FPの家」なら、我慢せずに快適に暮らす省エネが可能です。

